

学校 通信 4-4	 かけはし	教育目標 ○学び合う子 ○つながり、 支え合う子 ○たかましい子	武蔵村山市立 第九小学校 校長 吉成かおる 令和4年6月30日
-----------------	--	--	--

熱中症予防のために

副校長 日吉 英智

6月3日(金)に梅雨入りをした関東地方ですが、6月27日(月)には梅雨明けが発表されました。気象庁が統計を取り始めてから6月中に梅雨が明けるのは初めてのことだそうです。私の記憶を辿ってみると、7月上旬に梅雨が明けたことがありました。その時も「ずいぶん早く梅雨が明けたね。」なんて職員同士で話をしたことを覚えています。今回はそれ以上です。

さて、梅雨明けすると心配なのは暑さです。ここ近年の日本の暑さは異常とも言えるくらいのもので、報道などでも熱中症の話題が多く取り上げられるようになりました。

熱中症の危険度の目安として WBGT 値というものがあります。これは暑さ指数 (Wet Bulb Globe Temperature) というもので、熱中症を予防することを目的として 1954 年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度 (°C) で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数 (WBGT) は人体と外気との熱のやりとり (熱収支) に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。数値が25°C以下だと注意ですが、25°C~28°Cは警戒、28°C~31°Cは嚴重警戒、31°Cを超えると危険という判断になります。嚴重警戒だと激しい運動は中止、危険となった場合には、運動は原則中止しなければならない段階です。

本校では、子供たちが熱中症にかからないようにするため、次のような対応をとっております。今年は暑い時期が長そうですので、夏休みの御家庭での子供たちの活動に参考にしていただけたらと思います。

I WBGT 値の測定

本校では、朝子供たちが登校する前、中休みの前、昼休みの前に専用の測定器を使い、WBGT 値を測っています。その数値が高い時に、子供たちに以下に挙げるような指示をしています。

①水分補給の指示

休み時間に遊んだ後に水分補給をすることはもちろんですが、休み時間の始めにも水分を採ってから遊びに行くように指示しています。喉が渇いてからでは遅いという話もありますので、体育(水泳も含め)の授業中にも適時、水分補給をするようにしております。

②マスクを外す指示

休み時間に遊ぶ時や体育の時間には、話をあまりしないようにし、距離を保って活動するようにすることで、マスクを外すように指示しています。しかし、2年以上、マスクをしての生活に慣れてしまったせいか、外せない子供もいます。御家庭でもひとこえかけていただけますとありがたいです。

③帽子を被るように指示

体育の時間は帽子を被りますが、休み時間も帽子を被るように指示しています。頭に直射日光を当てないようにするためにも必ず被ってほしいと思います。

II 玄関前にミストの設置

暑さを解消できるように玄関の前に水のミストが出るような機器を取り付けてあります。休み時間の終わり頃にこのミストを発生させ、軽くかかるとその水が蒸発する気化熱で体温が下がります。ずぶ濡れだといけません、軽くかかるぐらいだと効果的です。

本校では、以上のような対応をとっています。